

広域的域活性化計画の事後評価報告シート（1）

都道府県名： 佐賀県

計画の名称： 佐賀県全域（観光振興）

1) 事業の実施状況

計画の整備方針	事業区分	事業名	事業実施状況	事業未実施の理由
○交通アクセスの向上及び観光拠点施設の整備 ○観光PR及び海外からの旅行者の受入環境の整備 ○都市圏からの観光客誘致 ○観光地における人材の育成	基幹事業	公園整備事業（佐賀城公園）	○	
		街路整備事業（（都）今津線ほか7路線）	△（一部）	用地買収の遅れによる
		道路改築事業（（主）佐賀八女線ほか10路線）	△（一部）	用地買収の遅れによる
		歩道整備事業（国道204号ほか7路線）	○	
	提案事業	舗装補修事業（国道204号ほか14路線）	○	
		地域観光資源啓発・推進事業	○	
		観光客誘致拡大・促進事業	○	
		空港利用促進事業	○	
		新幹線活用促進事業	○	
		公園整備事業（吉野ヶ里歴史公園ほか2公園）	○	
		地域財産保全のための顕彰事業	○	
		地域財産保全のための支援事業	○	
		電線共同溝（（都）小城駅千葉公園線）	○	
				○

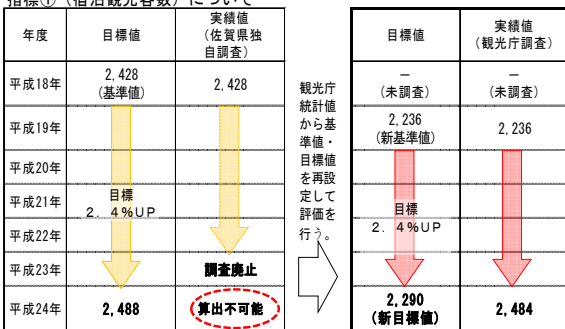
○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込み -：事業を中止

2) 目標の達成状況

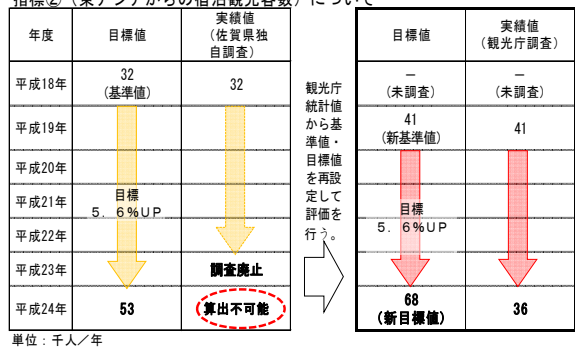
計画目標	事業効果の確認方法	指標名	従前値	目標値	評価値
○観光産業の持続的な発展を図るため、観光交流人口の拡大を図る。	計画で定めた目標指標	①宿泊観光客数	2,236千人/年（H19年）	2,290千人/年（H24年）	2,484千人/年（H24年）
		②東アジア地域からの宿泊観光客数	41千人/年（H19年）	68千人/年（H24年）	36千人/年（H24年）
	目標指標以外の成果指標	-	-	-	-
その他の定性的な成果		○地域の観光資源啓発により、県民、CSO、事業者、市町が景観資源に気づき、景観づくりの必要性に対する理解が深まった。			

※当該計画の基準値及び目標値は、県の独自調査値（佐賀県観光客動態調査）を基に設定していた。しかし、統計値の精度向上及び全国との比較を可能とするため、国の統計値（宿泊旅行統計調査：観光庁）を採用することとし、宿泊に関する県の独自調査は平成22年をもって廃止した。このことにより県の独自調査（佐賀県観光客動態調査）に基づく最終実績値は算出できなくなったため、平成19年から調査が開始された国の統計値（宿泊旅行統計調査：観光庁）に基づいて定量的指標を評価した。

指標①（宿泊観光客数）について



指標②（東アジアからの宿泊観光客数）について



広域的地域活性化計画の事後評価報告シート(2)

3) 目標達成・未達成への事業の効果の影響分析

事業効果の確認方法	計画で定めた目標指標		目標指標以外の成果指標	その他定性的な成果
	①宿泊観光客数	②東アジア地域からの宿泊観光客数		
事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園整備の進展により利便性、安全性、快適性が向上</li> <li>道路(街路)の整備が進化したことにより観光拠点へのアクセスが向上</li> <li>これらなどにより観光入込客増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園整備の進展により利便性、安全性、快適性が向上</li> <li>道路(街路)の整備が進化したことにより観光拠点へのアクセスが向上</li> <li>これらなどにより観光振興に対する取組が活性化されたものの目標達成には至らなかった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域観光資源啓発事業により、景観資源をあらためて認識できたことで景観づくりの必要性に対する理解が深まった。</li> </ul>
外部要因の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災の発生に伴う訪日旅行の手控えによる訪日外国人旅行者数の落ち込み</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>CSO(市民社会組織)の積極的な協力を得られた。</li> </ul>
目標達成・未達成の要因(問題点の把握)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹事業(公園整備、街路整備8路線、道路整備34路線)及び提案事業(観光啓発、観光客誘致、公園整備、無電柱化等)の実施により県内の観光振興を支える基盤整備の進展と観光振興に対する取組が活性化されたことにより、最終実績値は、最終目標値を194千人/年上回る結果となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹事業(公園整備、街路整備8路線、道路整備34路線)及び提案事業(観光啓発、観光客誘致、公園整備、無電柱化等)の実施により県内の観光振興を支える基盤整備の進展と観光振興に対する取組が活性化された。しかし、東日本大震災の発生に伴う訪日旅行の手控えといった外的要因等が影響し、最終実績値は、最終目標値を32千人/年下回る結果となった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>観光資源の啓発により、景観づくりの必要性に対する理解が深まったことで、観光活性化に向けた官民一体となった景観整備活動のきっかけになったものと考えられる。</li> </ul>
目標の達成・未達成区分	S	A		
全体計画の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園整備や道路整備等により県内の観光振興を支える基盤整備の進展と観光振興に対する取組の活性化が図れたことにより、宿泊観光客数は目標値を大きく上回ることができたが、東アジア地域からの宿泊観光客数は最終目標値を大きく下回る結果となり、今後、更なる観光資源の磨き上げや海外へ観光誘致に係る情報発信等の施策を推進していく必要がある。</li> </ul>			

S : 計画推進による効果が確認され、評価値も目標値を上回った  
A : 計画推進による効果が確認されたが、評価値が目標値には達していない  
B : 計画推進による効果が確認できなかったが、評価値が目標値を上回った  
C : 計画推進による効果が確認できず、評価値も目標値には達していない

4) 事後評価の手続き

実施体制・実施時期	・佐賀県県土づくり本部にて評価を行い確定(平成28年2月)
結果の公表方法	・佐賀県ホームページにて公表を行うこととする

5) 今後の活性化方策の検討

①未達成目標の改善方策

計画で定めた目標指標	目標の達成状況	改善方策
宿泊観光客数	S	達成
東アジア地域からの宿泊観光客数	A	観光産業の持続的な発展を図るため、観光振興を支える基盤整備と更なる観光資源の磨き上げや海外へ観光誘致に係る情報発信等の施策を推進する。

②今後の広域的な地域活性化方策

今後、広域幹線道路等の更なる整備を契機に、県外観光客の増加が期待されるため、交通拠点と拠点施設とのアクセス道路の整備や観光PRなどを実施し、地域観光の活性化を図って行く。

6) フォローアップ

計画目標	フォローアップが必要な目標指標	フォローアップ時期	フォローアップの公表方法
無			